

興津自然宿泊体験教室

子どもたちが「藍染めやハイキングなどの自然体験」や「飯ごう炊さん」、「磯観察」、「拾った貝を使ったクラフト作り」など様々な体験学習を行っています。令和5年度からは海とのつながりを実感する体験として、「漁港のお仕事体験」や「海洋学習フォトテーリング(※1)」などを実施しています。

7月3日に碑小学校6年生が、「海洋学習・体験プログラム」を行いました。その様子を紹介します。

※1 海洋学習フォトテーリング：地図に載っている写真の場所を探し、その場所で出題されるクイズやミッションにチームで挑戦しながら海や自然環境を学びます。

興津自然学園の紹介

目黒区の施設で、区立小学校6年生が興津自然宿泊体験教室を行う際の宿泊施設です。学園は、子どもたちが様々な体験学習を行う学びの場、活動拠点として活用しています。



問い合わせ 学校運営課(☎ 03-5722-9310 FAX 03-5722-9333)

「海とのつながり」海洋学習・体験プログラム

1 興津海水浴場に到着



興津自然学園から10分ほど歩いて、興津海水浴場に到着。まずライフセーバー、インストラクターの方々とあいさつです。その後ライフジャケットの着用方法を学びました。

2 海の安全教室



2人1組で、少しづつ海水や打ち寄せる波の感覚に慣れていきます。落水時に身を守るための方法や、溺れている人を発見した際の対応方法も学びます。海水温が低い中の活動でしたが、子どもたちは元気な声を上げていました。

3 SUP体験



ボードに乗ってパドルでこぎ、水面を進むマリンスポーツSUP体験では、13人乗れるメガサップを使用します。最後は、SUPで綱引き大会。冷たい海水に悲鳴を上げていた子どもたちの声が大歓声に変わりました。

4 記念撮影と閉会式



ライフセーバーやインストラクターの方々と一緒に記念撮影。閉会式では、習ったことをおさらいして、お世話になった方々にお礼のあいさつをしました。

＼子どもたちの感想／



みんなで水を掛け合い、協力してSUPをこぐのが楽しかったです。
今度は家族とも一緒に来たいです。

海を体験するのは初めてで、怖いと思っていたけれど、ライフジャケットがあったので安全に楽しく学ぶことができました。



＼校長先生の感想／



小学生のうちに実際に海で学習することが、子どもたちにとっても大きな財産になると思っています。学校だけではなかなか子どもたちに海での体験をさせるのは難しいので、プロの方々にご協力いただいたおかげで安心して実施することができました。

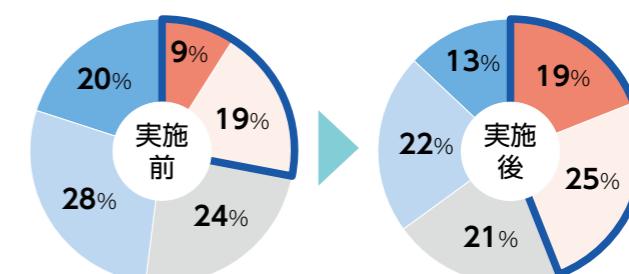
海の安全と楽しみ方についての学びと体験

海の安全教室では、海での危険なことを学び、そのうえで安全に楽しむ方法を学習しました。SUP(※2)体験では、チームごとボードを反対方向にこぐ綱引きにも挑戦し、白熱した試合を繰り広げました。

他にも、海藻や磯の生物を観察したり、海水のしょっぱさを知ったり、五感を使って豊かな海を満喫しました。※2 SUP：サップ。スタンド・アップ・パドルボードの略称

連携事業者によるアンケート結果

令和5年度から、延べ約3,500人(うち目黒区民約1,300人)の児童に体験プログラムの前と後で、アンケートを実施したところ、「Q. 自分にとって海は身近だと思う」という問い合わせに対し、そう思う人の割合が上昇し、全然そう思わない人が減少しました。



■ とてもそう思う
■ まあまあそう思う
■ どちらともいえない
■ あまりそう思わない
■ 全然そう思わない

興津自然宿泊体験教室での「海の安全教室とSUP体験」は、日本財団「海と日本プロジェクト」(総合海洋政策本部、国土交通省)、一般社団法人次世代価値コンソーシアム、アクトインディ株式会社の協力を得て実施しています。